

乳房切除術を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日	2病日		3病日	4病日	5病日	6～9病日：退院	【退院後の生活について】
	手術1日前	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目	手術後4～7日目	
達成目標	・手術後の経過について理解できる		・手術側の腫れ、痺れがない ・痛みによる苦痛がない ・ドレーンからの排泄に異常がない ・創部に血腫がない ・重症不整脈がない				・退院指導の内容を理解できる ・創部の腫脹や発赤がない	(活動について) ・手術した側の腕で重い物を持つと、リンパ液の流れが悪くなりむくみが生じるので、手術していない側の腕で持つようにしてください ・仕事を始める時期は個人差がありますので、医師に相談してください (入浴について) ・退院後は入浴できます。体を温めることで手術後の筋肉のこわばりを予防することができますので、湯船につかることをお勧めします。長風呂はせず、術後2週間は約5分程度を目安に入浴するようにしてください ・創部は泡立てた石鹸でなでるように洗い、押さえ拭きしてください
内服	・薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します ・寝る前に下剤を内服します			・持参薬は、医師の指示で開始します				
手術		手術						
注射	・点滴をします			・点滴を抜きます				
検査	・採血 ・Rtシンチ ・身長・体重測定		・採血 ・レントゲン	・採血			・採血(手術後6日目) ・体重測定(退院日)	(その他) ・リンパ節を切除(郭清)した場合は、更に腕がむくみやすくなります。リンパ浮腫予防についての説明に沿って、退院後も自宅で手術した側の腕を動かして下さい。 ・血圧測定や採血は、手術をしていない側の腕で行ってください
処置	・手術部位を除毛します(必要時)	・弾性ストッキングを着用します	・フットポンプをつけます	・フットポンプを外します	・弾性ストッキングを脱ぎます			以下の症状がある時はご連絡ください ・創部が化膿、赤く腫れる ・手術した側の腕のむくみ ・38.0度以上の発熱
			・手術室で尿の管を入れます	・尿の管を抜きます				
			・手術室で創部に管(ドレーン)を入れます	・創部を確認します(毎日)			・創部の状態をみて、管を抜きます	
			・心電図、酸素飽和度モニターをつけます	・心電図、酸素飽和度モニターを外します				
食事	・夕食後は、指示された時間から、飲食はできません	・飲食できません	・医師の指示後、飲水できます。手術後初めての飲水は、看護師の付き添いのもと、行います	・医師の診察後に食事が始まります	・制限はありません			【緊急連絡先】 ・平日時間内(8:30～17:00) 乳腺外科外来 0985-85-9885 総合予約室 0985-85-1225 ・土日・祝日、時間外 3階東病棟 0985-85-1789
活動・安静	・制限はありません		・ベッド上安静です ・排便時や体の向きを変えたい時は、ナースコールでお知らせください	・病室内は歩けます ・初めて歩くときは看護師が付き添いますので、ナースコールでお知らせください	・病棟内は制限ありません	・制限はありません		
			・手術をした側の腕は、医師の指示に従って動かしてください				・手術した側の肩関節は90度以上動かしても構いません。リンパ節を切除(廓清)した場合は、肩関節の屈曲・外転運動を5回×2～3セットを目安に少しずつ動かしてください	
清潔	・シャワー浴ができます ・除毛をする場合は、除毛後にシャワー浴をしてください	・肺炎予防のため、手術前までに歯磨きを済ませてください	・看護師の介助で、歯磨き、顔拭きをします	・身体を拭きます			・創部の管が抜け、医師の許可があればシャワー浴ができます	
リハビリ					・リハビリテーションのための診察があります	・リハビリテーションを開始します。理学療法士の指導のもと行ってください		
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が手術の説明をします ・手術室の看護師が、手術に伴う確認や諸説明を行います ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒・転落予防について説明します ・術前オリエンテーションを行います					・リンパ節を取った(廓清した)方には、リンパ浮腫予防について説明します	・退院後の生活について説明します	
その他	・同意書は職員にお渡ください ・手足の爪を切り、マニキュアは落としてください ・お化粧は落としてください	・手術衣に着替えます ・義歯、コンタクトレンズ、時計、アクセサリ等は外し、各自保管してください。メガネと補聴器は必要時、手術室までつけていけます ・貴重品は、ご自身又はご家族で管理してください ・ご家族は、3階デイルーム・面談室で待機してください。場所を移動される時は必ず職員へお声掛けください	・痛みがあれば鎮痛剤を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・創部の周囲は感覚が鈍くなることがあります ・手のしびれがあるときは、相談してください					

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。